

第7回

日本小児へそ研究会

プログラム・抄録集

写真など掲載されているため、
プログラムのみとしております。
抄録内容をご希望の先生は、
事務局へお問い合わせください。

【会期】 2021年4月9日（金） 17：30～20：30

【会場】 千葉WEB開催

会長：静岡県立こども病院 小児外科 漆原 直人

事務局：静岡県立こども病院 小児外科

〒420-8660 静岡県静岡市葵区漆山860

電話：054-247-6251 FAX：054-247-6259

E-mail：ch-surgery@i.shizuoka-pho.jp

第7回日本小児へそ研究会のご挨拶



拝啓

時下、皆様方におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、第7回日本小児へそ研究会のお世話をできることを大変光栄に思います。また今般の新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大に、対応されているすべての医療関係者の皆様のご尽力に敬意を表しております。

本研究会は2015年より外科学会定期学術集会の期間中に開催されることとなり、今回で7回目となりました。会期は松原久裕会頭の学術集会中の2021年4月9日(金)の17時30分～20時30分です。外科学会定期学術集会が完全web開催となったことに伴い、第7回日本小児へそ研究会も完全web開催になります。研究会への参加には、外科学会定期学術集会に参加登録していただく必要があります。

要望演題は1) 臍帯ヘルニア・腹壁破裂 2) 臍部を利用した手術にしましたが、多数の演題を応募して頂きました。心から感謝申し上げます。小児ではへそにかかわる疾患が多数ありますが、代表的な新生児疾患として臍帯ヘルニアと腹壁破裂があります。古くから多くの術式が報告されていますが、ヘルニアの大きさ、合併疾患によっては治療に難渋することがあります。また一人の小児外科医が経験する症例数は限られています。そこで苦勞した症例あるいは各施設での工夫など貴重な経験を報告していただき、今後の治療に役立てて頂ければと思います。1986年 Tan と Bianchi は circumumbilical incision による幽門筋切開術を報告しました。肥厚性幽門狭窄症に対する報告でしたが、以後、多くの疾患に対して臍部からのアプローチで手術が行われるようになりました。臍部を利用した手術を報告して頂きます。またへそに関係する多くの報告があります。

新型コロナウイルス感染が一日も早く収束し、本研究会が充実した有意義な研究会となりますことを祈念致しております。どうぞ多くの皆様にご参加いただき、活発な討論をお願い申し上げます。

令和3年3月

第7回日本小児へそ研究会 会長
静岡県立こども病院 小児外科
漆原 直人

参加者へのご案内とお願い

外科学会学術集会が完全 web 開催となったことに伴い、会期中の第 7 回日本小児へそ研究会も完全 web 開催になります。研究会への参加には、外科学会学術集会に参加登録していただく必要があります。

I. 開催日時：2021 年 4 月 9 日（金） 17：30～20：30

II. 参加費について

第 121 回日本外科学会学術集会の参加登録をもって視聴可能です。

III. 第 121 回日本外科学会学術集会の参加登録について

本研究会の参加には第 121 回日本外科学会学術集会のオンライン参加登録が必須です。
学術集会ホームページにてご確認ください。

<http://www.jssoc.or.jp/jss121/index.html>

IV. 口演発表について

発表時間：5 分、質疑時間：2 分

※登壇者の先生には ZOOM にご入室いただきます。

- ①司会のセッション開始の挨拶：Live 配信
- ②司会からの演者紹介、演者の挨拶：Live 配信
- ③演者の発表：事前にご登録いただいた音声付きスライド動画の放映
- ④質疑応答：Live 配信

事前にご登録いただいた音声付き発表データをセッション中に配信し、質疑応答（総合討論がある場合は総合討論も含む）をライブにて行います。

ご登録手順：

- 1) 「音声付き発表データ作成マニュアル」を参考に、発表データ（動画）を作成する。

※PPT の画面比率は、4：3、16：9 のどちらでも可能です。

- 2) 下記 URL のアップロードページに動画変換済みの発表データを格納する。

URL： <https://convention.app.box.com/f/0235e2d505d24891aca64463f9f56320>

V. 座長の先生へ

ご担当のセッション開始 10 分前にご準備ください。

座長紹介のアナウンスは行いません。

VI. 一般討論者へ

座長の許可を受けたうえで、所属、氏名を明らかにしてから討論を始めて下さい。

VII. 二次抄録について

日本小児外科学会雑誌に抄録を掲載いたします。抄録内容に変更のある場合には研究会終了後 1 週間以内に第 7 回日本小児 へそ研究会事務局 ch-surgery@i.shizuoka-pho.jp までご連絡下さい。

プログラム

17:30～17:34 開会の辞

17:34～17:55

セッションⅠ 臍部を利用した手術

座長 静岡県立こども病院 小児外科 三宅 啓

1. 腹腔鏡補助下に人工肛門閉鎖術を施行した一例

京都府立医科大学附属病院小児外科 廣畑 吉昭

2. 新生児尿膜管開存症の一例

筑波大学医学医療系小児外科 後藤悠大

3. 逆Y字皮膚切開による臍形成術(VY皮弁法)の治療成績:アンケートによる患者満足度調査

鹿児島大学学術研究院医歯学域医学系 小児外科学分野 杉田 光士郎

17:55～18:37

セッションⅡ-1 臍帯ヘルニア・腹壁破裂の治療1

座長 千葉大学 小児外科 中田光政

4. アクアセル Ag[®]を用いて上皮化させた巨大臍帯ヘルニアの1例

聖マリアンナ医科大学小児外科 大山 慧

5. 巨大臍帯ヘルニアに対する抗菌性創傷被覆保護剤の使用経験

福島県立医科大学附属病院小児外科 南 洋輔

6. 人工真皮を用いて腹壁閉鎖を完遂しえた巨大臍帯ヘルニアの一例

日本赤十字社和歌山医療センター小児外科 堀池 正樹

7. 陰圧閉鎖療法後に腹壁閉鎖を行なった巨大臍帯ヘルニアの一例

東京大学医学部附属病院小児外科 渡辺栄一郎

8. 全肝脱出を伴った OEIS complex の一例

福岡市立こども病院小児外科 林田 真

9. 全肝脱出を伴う巨大臍帯ヘルニアに対する新たな手術戦略

関西医科大学外科学講座小児外科 吉本紗季子

18:37～19:12

セッションⅡ-2 臍帯ヘルニア・腹壁破裂の治療2

座長 大阪大学 小児成育外科 田附 裕子

10. 臍腸癒、腸管部分拡張症を認めた巨大臍帯ヘルニアの一例

静岡県立こども病院小児外科 金井 理紗

11. 腹壁閉鎖に難渋した Closing Gastroschisis の一例

神奈川県立こども医療センター外科 都築 行広

12. 臍帯ヘルニアおよび腹壁破裂の手術方法と、後の臍形成術についての検討

自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児外科 馬場 勝尚

13. 腹壁破裂後の臍欠損に対して造臍術を施行した症例

広島市立広島市民病院小児外科 佐伯 勇

14. 腹壁破裂 gastroschisis の発生原因に関する一新説

四国中央病院小児外科 大塩 猛人

19:12~20:15

セッションⅢ その他

座長 静岡県立こども病院 小児外科 福本弘二

15. 小児術野消毒による臍内細菌の変化について

高知大学医学部附属病院小児外科 大畠 雅之

16. Slit Slide Procedure の合併症と術後再発例の検討

岐阜県総合医療センター小児外科 加藤 禎洋

17. 梶川第2法による臍形成術が奏功した臍帯内ヘルニア治療後巨大臍ヘルニアの1例

千葉大学大学院医学研究院小児外科学 小関 元太

18. 臍部余剰皮膚が嵌頓状態を呈した一例

国立成育医療研究センター臓器・運動器病態外科部外科 古金 遼也

19. 臍外反による臍嵌頓の2例

徳島大学病院小児外科・小児内視鏡外科 石橋 広樹

20. 胎児期に臍帯嚢胞を指摘され尿膜管瘻と診断された2例

北里大学病院小児外科 渡部 靖郎

21. 臍腫瘤を呈した腹壁内卵黄腸管嚢胞の2例

岐阜県総合医療センター小児外科 鴻村 寿

22. 臍子宮内膜症の1例

東京医科大学消化器・小児外科学分野 林 豊

23. 結合体に対する分離手術の経験

新潟大学大学院小児外科学分野 小林 隆

20:15~20:20 次期会長挨拶

20:20~20:22 閉会の辞

『日本小児へそ研究会』会則

第一章（総則）

第一条 本会は、日本小児へそ研究会と称する。

第二条 本会の事務局を下記におく。

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2 大阪大学大学院医学系研究科外科学講座
小児成育外科（事務局代表者：奥山宏臣）

第二章（目的および事業）

第三条 本会は、小児の診察において、へそに関する疾患の治療や、良好な術後成績が得られかつ整容面に優れたへそを利用した手術方法など、へそに関連した治療全般について意見交換を行い、よりよい治療を患児に提供することを目的とする。

第四条 本会は、第三条の目的を遂行するために、次の事業を行う。

（ア）年 1 回の学術研究会を開催する。

（イ）その他、本会の目的に沿った事業を行う。

第三章（施設会員）

第五条 会員は本会の主旨に賛同する小児の外科診療を行う施設とする。

第四章（組織）

第六条 本会に次の役員を置く

（ア）代表幹事 1 名

（イ）会長 1 名

（ウ）副会長 1 名

（エ）幹事 若干名

（オ）監事 2 名

（カ）名誉会員 若干名

第七条

（ア）代表幹事は、幹事の互選によって幹事会で定められ、会務を統括、執行する。幹事会を招集し、議長を務める。任期は 2 年とし再任を妨げない。

（イ）会長は、幹事の承認を経て副会長が昇任し、研究会を主催する。会長は施設代表者会議の議長を務める。

（ウ）副会長は、幹事の互選により幹事会で選出され会長を補佐する。

（エ）幹事には、その意思を幹事会に書面で届け出、幹事会で承認された会員になることができる。連続して 3 回幹事会を欠席した場合は原則としてその資格を

失う。

(オ) 監事は、幹事会で選出され、幹事会に出席するとともに、本会の会計および事業を監査する。

(カ) 名誉会員は、当研究会の会長経験者または幹事経験者より推薦され、幹事会で承認される。

第八条

(ア) 幹事の任期は2年とし、再任は妨げない。

(イ) 監事の任期は4年とし、再任は認めない。

(ウ) 会長の任期は研究会終了までとする。

第九条 幹事会は次の事項を協議し、決定する。

(ア) 会長、副会長の選任

(イ) 代表幹事、幹事、監事の選任

(ウ) 会則の変更

(エ) その他必要な事業

第十条 幹事会の成立には、構成員の2/3以上（委嘱状を含む）の出席を要する。

議決は、出席者の過半数で決定し、同数の場合は議長が決する。

第十一条 施設代表者会議は、学術集会の際に代表幹事が招集する。幹事会での決定事項を代表幹事が施設代表者会議で報告する。

第五章（会計）

第十二条

(ア) 施設会員は、年5,000円の施設会費を納入しなければならない。

(イ) 本会の運営は、施設会費、補助金および寄付金を以て行う。

第十三条

(ア) 本会の会計年度は毎年1月1日より12月31日までとする。

(イ) 決算は幹事会の承認を受けなければならない。

第六章（その他）

第十四条

(ア) 本会側は幹事会の出席者の過半数の同意をもって、これを変更することができる。

(イ) 本会側の定めのないことについては幹事会において協議決定する。

(ウ) 研究会参加者資格については、原則会則に則り医師または医学研究者とするが、その他の参加資格については学会会長にその権限を委任する。

付則

- (ア) 本会側は、2015 年 4 月 16 日より施行する。
- (イ) 本会側は、2016 年 4 月 14 日より施行する。
- (ウ) 本会側は、2019 年 4 月 19 日より施行する。

日本小児へそ研究会施設会員名簿（2021 年 4 月現在 敬称略）

施設名（五十音順）	部局名	施設代表者
大阪大学	小児外科	奥山 宏臣
大阪市立大学	小児外科	堀池 正樹
岡山大学病院	小児外科	野田 卓男
沖縄県立南部医療センター	こども医療センター	金城 僚
香川大学医学部附属病院	小児外科	下野 隆一
加古川中央市民病院	小児外科	久野 克也
鹿児島大学学術研究院	医歯学域医学系小児外科	家入 里志
金沢医科大学	小児外科	岡島 英明
関西医科大学	小児外科	土井 崇
北里大学	小児外科	田中 潔
九州医療センター	小児外科	甲斐 裕樹
九州大学大学院	小児外科	松浦 俊治
京都大学	小児外科	上本 伸二
京都府立医科大学大学院	小児外科	田尻 達郎
杏林大学医学部	小児外科	浮山 越史
近畿大学医学部	外科学教室 小児外科	佐々木 隆士
近畿大学医学部奈良病院	小児外科	米倉 竹夫
久留米大学医学部	外科学講座 小児外科	八木 実
慶應義塾大学	小児外科	黒田 達夫
公立学校共済組合四国中央病院	小児外科	大塩 猛人
国際医療福祉大学病院	小児外科	測本 康史
国立成育医療研究センター	外科	金森 豊
埼玉医科大学	小児外科	尾花 和子
埼玉医科大学総合医療センター	小児外科	小高 明雄
埼玉県立小児医療センター	小児外科	川嶋 寛
静岡県立こども病院	小児外科	漆原 直人
自治医科大学	小児外科	小野 滋
順天堂大学	小児外科	山高 篤行
昭和大学	小児外科	渡井 有
聖マリアンナ医科大学	小児外科	北川 博昭
聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院	小児外科	脇坂 宗親
千葉大学医学部附属病院	小児外科	菱木 知郎
筑波大学医学医療系	小児外科	増本 幸二

東京医科歯科大学	小児外科	岡本健太郎
東京医科大学	消化器・小児外科学分野	土田 明彦
東京慈恵会医科大学	小児外科	芦塚 修一
東京大学	小児外科	藤代 準
東北大学	小児外科	仁尾 正記
徳島大学病院	小児外科、小児内視鏡外科	石橋 広樹
獨協医科大学	第一外科	土岡 丘
名古屋大学大学院 医学系研究科	病態外科学講座小児外科学	内田 広夫
新潟大学大学院	小児外科	木下 義晶
日本赤十字医療センター	小児外科	中原 さおり
日本大学医学部	小児外科	越永 従道
兵庫医科大学	外科学講座 小児外科	大植 孝治
弘前大学医学部	小児外科学講座	平林 健
深谷赤十字病院	小児外科	寺脇 幹
福岡市立こども病院	小児外科	林田 真
福島県立医科大学附属病院	小児外科	田中 秀明
北海道大学	消化器外科Ⅰ	武富 紹信
宮城県立こども病院	外科	遠藤 尚文
山梨県立中央病院	小児外科	大矢知 昇
医療法人社団明愛会 小倉南メディカルケア病院		窪田 正幸
医療法人社団浅ノ川 千木病院		河野 美幸
福岡医療短期大学		田口 智章
医療法人横浜柏堤会 戸塚共立第2病院		土岐 彰
貴島中央病院		濱田 吉則

幹事会（敬称略、五十音順）

	名 前	所 属
代表幹事	奥山 宏臣	大阪大学 小児外科
	内田 広夫	名古屋大学大学院医学系研究科 病態外科学講座小児外科学
	漆原 直人	静岡県立こども病院 小児外科
	大塩 猛人	公立学校共済組合四国中央病院 小児外科
	小野 滋	自治医科大学 小児外科
	川嶋 寛	埼玉県立小児医療センター 小児外科
	窪田 正幸	小倉南メディカルケア病院
	黒田 達夫	慶應義塾大学 小児外科
	河野 美幸	医療法人社団浅ノ川 千木病院
	小高 明雄	埼玉医科大学総合医療センター 肝胆膵外科・小児外科
	田口 智章	福岡医療短期大学
	田尻 達郎	京都府立医科大学大学院 小児外科
	土岐 彰	医療法人横浜柏堤会 戸塚共立第2病院
監 事	仁尾 正記	東北大学 小児外科
監 事	濱田 吉則	貴島中央病院
	増本 幸二	筑波大学医学医療系 小児外科
	山高 篤行	順天堂大学 小児外科
	米倉 竹夫	近畿大学医学部奈良病院 小児外科
	渡井 有	昭和大学 小児外科
	菱木 知郎	千葉大学医学部附属病院 小児外科

日本小児へそ研究会歴代会長

	名 称	名 前	開催年月日	開催地
第 1 回	日本小児へそ研究会	大塩 猛人	2015.4.16	名古屋
第 2 回	日本小児へそ研究会	濱田 吉則	2016.4.16	大阪
第 3 回	日本小児へそ研究会	土岐 彰	2017.4.28	横浜
第 4 回	日本小児へそ研究会	田口 智章	2018.4.6	東京
第 5 回	日本小児へそ研究会	仁尾 正記	2019.4.19	大阪
第 6 回	日本小児へそ研究会	黒田 達夫	2020.8.14	東京

協賛企業

株式会社 ANEEEX't LAB
科研製薬株式会社
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
株式会社トップ
(五十音順)

第 7 回日本小児へそ研究会を開催するにあたり上記の企業をはじめとして、多くの方々に多大なるご協力ならびにご厚情を賜りました。

この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

第 7 回日本小児へそ研究会
会長 漆原 直人



New! 鳩胸ブレース ポッポちゃん



先天的鳩胸疾患における保存的療法を用いた矯正装具。

約1年間装着する事で満足ゆくレベルにまで綺麗に矯正されます。(個人差はあります)

株式会社 アネックスラボ プロテクタ開発・担当責任者 大川 明宏

TEL : 054-260-7283 / FAX : 054-260-7284

E-mail : info@annext.jp

【本社】〒422-8006 静岡県駿河区曲金6丁目4-20

【アトリエ】〒422-8034 静岡県駿河区島松1丁目17-17



承認番号 205008Z・00790000
高度管理医薬品 保険適用

癒着防止吸収性バリア
セプラフィルム®

ヒアルロン酸ナトリウム/カルボキシメチルセルロース癒着防止吸収性バリア

● 禁忌・禁止を含む使用上の注意等については
添付文書をご参照ください。

製造販売元/輸入: **バクスター株式会社**
東京都中央区築地一丁目5番10号

発売元
文庫館薬光
（有限会社）



科研製薬株式会社

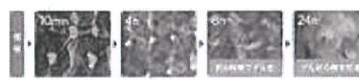
〒113-8650 東京都文京区本駒込2丁目28-8
医薬品情報サービス室

JFAS30-200106 V1.0
EPFO40P (2021年3月作成)



INTERCEED®
Absorbable Adhesion Barrier
腹も胸もさらコース® 生体吸収性接着防止材

体内に埋植後、24時間でゲル状の膜を形成、癒合の再生に必要な7日から10日間患部を覆う
接着防止・保護作用を奏効します



※主成分: ポリ(γ-ブチロラクトン) 吸収性接着防止材(生体吸収性接着防止材) 吸収性接着防止材(生体吸収性接着防止材) 吸収性接着防止材(生体吸収性接着防止材)

1/24/11/10/2021 株式会社トップ



TOP PRODUCT LINE UP

—— 製品のご紹介 ——

切開創保護器具

スマートリトラクター®

フレキシブルなシート材質により
多様な手技をサポートします。

特長

〔独自のリング設計〕

リングは開創部への展開力を最適化したことで、より大きな術野を確保します。

〔シート材質〕

フレキシブルなシート材質は、リングに均一に巻かれるため、開創部を円形状に保ちます。

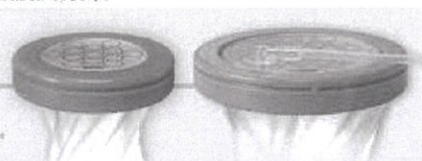


関連製品

フリーアクセス®

ポート用キャップ「フリーアクセス」と簡単装着。
鏡視下手術におけるトロカール操作の自由度の幅を広げます。

製品登録品目番号 130.00.00.00.00.00



●イラストはイメージであり、製品とは異なる場合があります。ご了承ください。 ●製品型番にともない、予告なく仕様・外観と変更する場合があります。ご了承ください。

製品の価格等は、お近くの支店・営業所までお問い合わせください。

株式会社トップ 本社 〒100-0001 東京都千代田区千代田10号	東京支店 Tel: 03-3811-0015 札幌支店 Tel: 011-820-8383 仙台支店 Tel: 024-214-7641 新潟支店 Tel: 0254-263-0825 山形支店 Tel: 022-246-7651	岩手支店 Tel: 022-834-3333 盛岡支店 Tel: 019-645-3452 秋田支店 Tel: 018-200-5271 青森支店 Tel: 017-643-0231 宮城支店 Tel: 099-265-4566	大塚支店 Tel: 06-6301-6021 名古屋支店 Tel: 022-265-3610 金沢支店 Tel: 076-268-3370 神戸支店 Tel: 078-341-7682	福岡支店 Tel: 092-477-8230 北九州支店 Tel: 093-685-5797 鹿児島支店 Tel: 025-244-2151 高松支店 Tel: 087-886-9991
--	--	---	--	---